

Learning by Volunteering:

Exploring the Meaning of Living Together

through Visiting a Village of the Akha People in Thailand



Activities 2018-19

① Lecture by Professor Koroki of Showa Women's University
Universal Declaration of Human Rights, fair-trade, SDGs, disparity between rich and poor

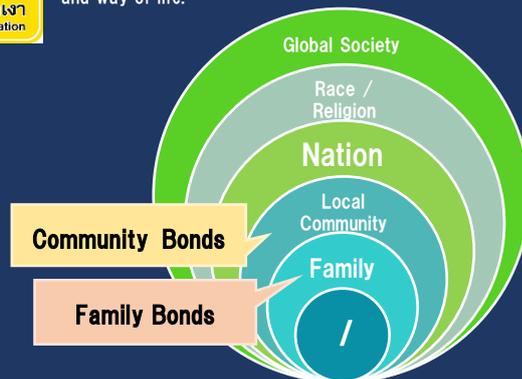


Work-camp Host
The Mirror Foundation

② Activities in Thailand
Shared our culture at village nursery school, kindergarten and elementary school.
Home-stayed at Apha Village, rode elephants

• Working with ethnic minorities to protect their human rights and way of life.

③ Actions at our school
Collecting towels and stationery as donations for Thai children,
Organizing fair trade events



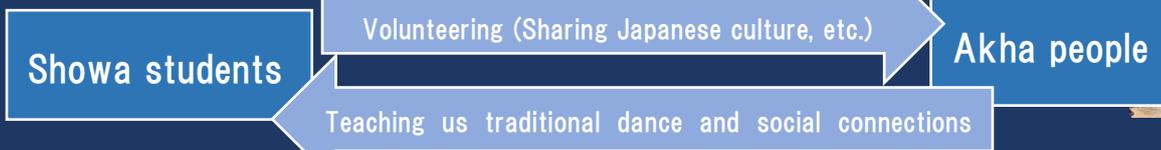
Circles of Connections around Us

④ Local Action
Volunteered at NGO organization Shapla Neer

⑤ Future Actions
- Jan. 2020: Lecture by African woman with refugee status
- Feb. 2020: Fair-trade event at school

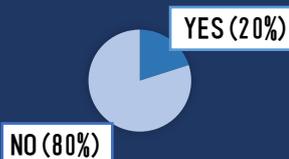


We discovered that **VOLUNTEERING IS MUTUALLY ENRICHING.**

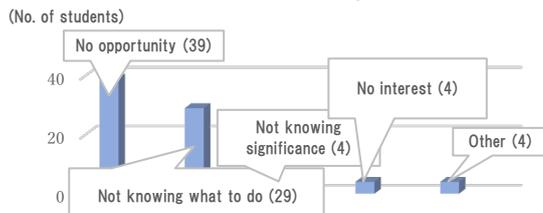


Student Questionnaire on Volunteering

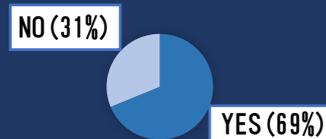
DO YOU FEEL ANY OBSTACLES TO VOLUNTEERING?



What kind of obstacle do you feel?



DO YOU FEEL THAT VOLUNTEERING IS CLOSE TO YOUR HEART?



~School-based Volunteer Activities~

-Donating stationery and towels for Thai children



(July 2018 and 19)

-The selling of fair-trade products (February 2019)



Comments by buyers

I get a warm feeling whenever I use the product.

I feel connected to the producers and the world.

NGO suppliers of the fair-trade products we sell

- Shapla Neer
- Wakachai Project

Some producers of the fair-trade products we sell



Our Motto

If you can't bring a smile to your neighbor, you can't hope to bring smiles to people far away. (Sakura, Mirror Foundation, Thailand)



トップ > 社会 > 高校生が提言！ジェンダー平等社会に

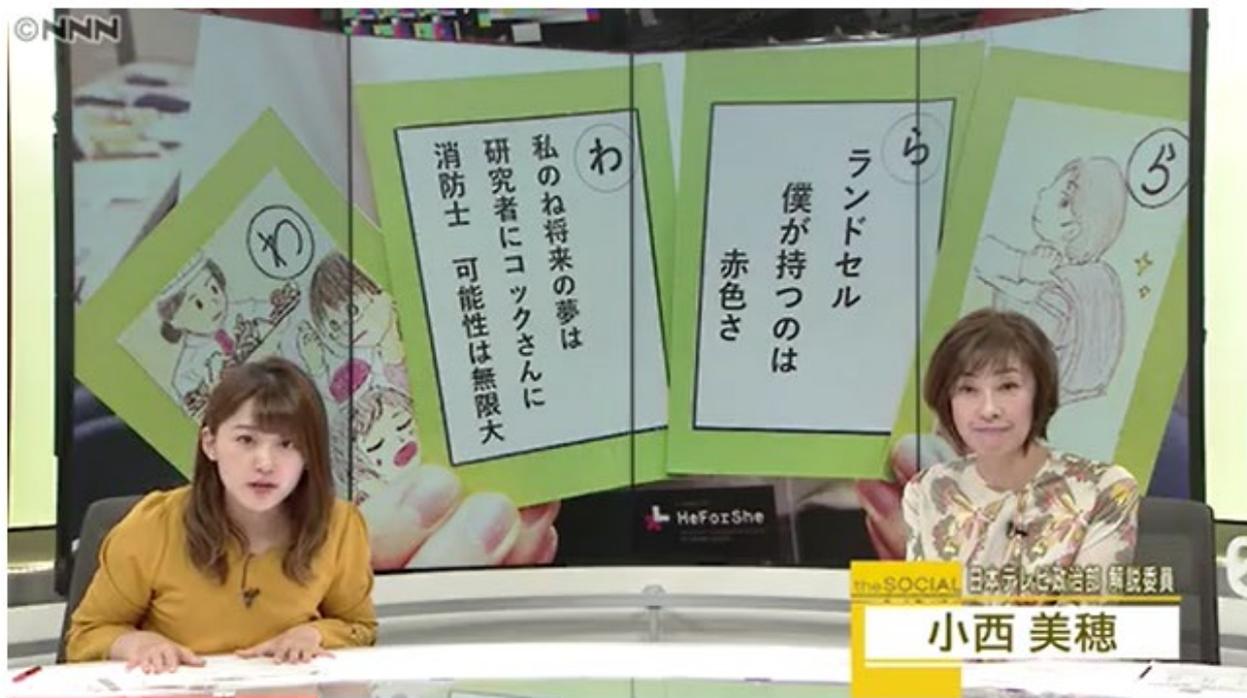


高校生が提言！ジェンダー平等社会に

ツイートする

シェアする

2019年10月18日 16:18



カンボジアに対する 多面的な理解、複合的な視野を育む

第6回合同カンボジア研修研究会&成果発表会

SGH（スーパーグローバルハイスクール）（全体会、セッション）の協働による高等学校教育改革推進事業等の活動で、カンボジアでのフィールドワークを実施、課題研究を行っている。第6回合同カンボジア研修研究会&成果発表会が1月11、12の両日、東京・渋谷の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。参加した生徒は、カンボジアに対する多面的な理解、複合的な視野を育む機会として期待されている。

SGH（スーパーグローバルハイスクール）（全体会、セッション）の協働による高等学校教育改革推進事業等の活動で、カンボジアでのフィールドワークを実施、課題研究を行っている。第6回合同カンボジア研修研究会&成果発表会が1月11、12の両日、東京・渋谷の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。参加した生徒は、カンボジアに対する多面的な理解、複合的な視野を育む機会として期待されている。

昭和女子大学附属昭和高校など5校が参加

研修研究の成果をプレゼン

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ

初日は各校がプレゼンテーションを行う全体会、アドバイザーの米倉雪子、昭和女子大学国際学部国際学科准教授の基調講演、グループワーク（全体会）、二百目がラーニング・ワークショップ



昭和女子大学附属昭和高校の発表



岡山学芸館高校の発表



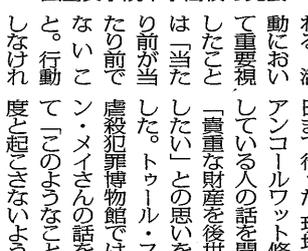
和歌山信愛中学校の発表



啓明学園中学校の発表



広島女学院中学校の発表



米倉准教授

米倉准教授は「一人ひとりの決意を理解した。ひろしまとカンボジアとの友好を祈念して建てられ、教育や給食の支援を行っている「ひろしまハウス」を見学した。帰国後は広島県内にある大学の大学生との合同でディスカッションしたり、広島市主催の国際フェスタに参加し、一般にカンボジアの実情を知ってもらった。



米倉准教授

米倉准教授は「一人ひとりの決意を理解した。ひろしまとカンボジアとの友好を祈念して建てられ、教育や給食の支援を行っている「ひろしまハウス」を見学した。帰国後は広島県内にある大学の大学生との合同でディスカッションしたり、広島市主催の国際フェスタに参加し、一般にカンボジアの実情を知ってもらった。

米倉准教授は「一人ひとりの決意を理解した。ひろしまとカンボジアとの友好を祈念して建てられ、教育や給食の支援を行っている「ひろしまハウス」を見学した。帰国後は広島県内にある大学の大学生との合同でディスカッションしたり、広島市主催の国際フェスタに参加し、一般にカンボジアの実情を知ってもらった。

2019年度

グローバル型探究成果発表会

昭和女子大学附属昭和高等学校

昭和女子大学附属昭和高等学校(金子朝子校長、東京都世田谷区)は、2月18日、同校で「2019年度グローバル型探究成果発表会」を開催した。当日はポスターセッションとワークショップ(LABO)の発表は、各教室で行われ、発表が行われた。

この日は、「都市型社 会課題への発信力を育成 するクロスサービスラー ニングプログラム」の研 究テーマで、ポスターセッ ションが行われた。

「世代を担 う私たちが 考えるキャ リアデザイ ン」では、 キャリアデ ザインにつ いて、自ら が主体とな って構想 し、実現し ていくこ

「子ども食堂の未来」 「保健医療 することができるとま と」 「食品」多 めた。

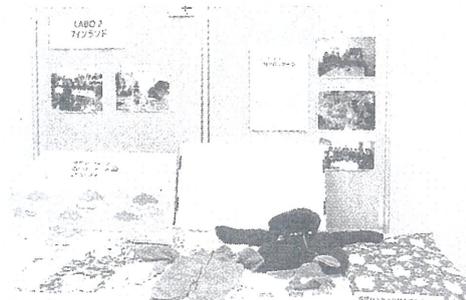
「子ども食堂の未来」 「子ども食堂とは一では、 グローバ 子ども食堂について調 査、今後の活動として紙 芝居を作って、子どもた ちに子ども食堂を知って もらう。子ども食堂に対 する偏見等をなくすため の必要性を発表した。

海外研修の成果を報告(LABO活動)



LABO4 (タイ研修) の報告会

「世代を担う私たちが考えるキャリアデザインについて、自らが主体となって構想し、実現していくこ



LABO2 (フィンランド研修) の展示

「子ども食堂の未来」 「保健医療 することができるとま と」 「食品」多 めた。



ポスターセッションでの発表

東京保健医療専門職大学 開学記念式典

小林「豊かな人間性を育む」

共生できる社会の実現と発展

「少子高齢化の中で、人材・人づくりが必要だ」と述べた。また遠藤利明・衆議院議員は「卒業してからプロフェッショナルとして役に立つ人材を育ててほしい」とあいさつした。

学長予定者の陶山氏は、大学の役目として、教育・研究・社会貢献を取り上げ、「特に教育を充実させなければならぬ。教員の教育力を上げる。社会と密に連携し、活力ある専門職大学、実践に裏打ちされた

者など多様な人々が「共生できる社会の実現と発展」を建学の精神に掲げる。リハビリテーション学部は「理学療法学科」「作業療法学科」がある。基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目を体系的に配置してい

立命館大学 (京都市) は3月15日から18日までアメリカ・テキサス州オースティンで開催される、世界から多くの企業やクリエーター、起業家、投資家参加する祭典「SXSW (サウス・パイク・サウスウエスト) 2020」のトレードショーにブース出展する。

立命館大学 米・SXSW 理工学部が開

東京電機大学 藤川太郎准 JAXAの研究

東京電機大学 (東京都足立区) の藤川太郎・未だ来科学部ロボット・メカトロニクス学科准教授の探究テーマが、JAXA宇宙探査イノベーションハブが実施した「太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・活動領域の拡大に向けたオープンイノベーションハブ」に関

文京学院大学 台風19号か 川越市に支

朝日中高生新聞

Asahi Student Newspaper

©朝日学生新聞社
〒104-8433
東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞社新館9階
☎03(3545)5223(広報)
☎03(3545)5222(編集)
購読申し込み 0120-415843
ウェブサイト www.asagaku.com

2020
1/26
sun

ニュース ヘイトスピーチに刑事罰 7

伝言板 友達がつくれぬ... 14

ブック 本屋さんのおすすめ! 21

話題 巨大スヌーピーがお出迎え 12,13

エンスタ 著名人の受験体験に学ぶ① 17

芸能 俳優 高杉真由さん 24

あなたの中にもある?!

性差別の目



第10回

「ジェンダー」

社会的な性差について知ってもらうため「ジェンダーかるた」を作った昭和女子大学附属昭和高校の生徒たち=2019年12月16日、東京都世田谷区

日本は153カ国中121位。何の順位だと思えますか?
2019年の男女平等の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数」の順位です。指数は前年の66.2%から65.2%へと後退し、順位は過去最低となりました。

国連の掲げる「SDGs (持続可能な開発目標)」には、2030年までに達成すべき目標の一つとして「ジェンダー平等を実現しよう」があります。「女の子だからこうなさい」「男は男らしくあるべきだ」。そんなしがらみをなくするために私たちに何ができるでしょうか。男

女格差をめぐる日本の現状と、性別の枠にとられない社会をめざす高校生や政治家の取り組みを紹介します。
(前田基行、小勝千尋)

▶ 2面・3面に続く

2030 SDGs で考える **ジェンダー** はいま

5 ジェンダー平等を表現しよう

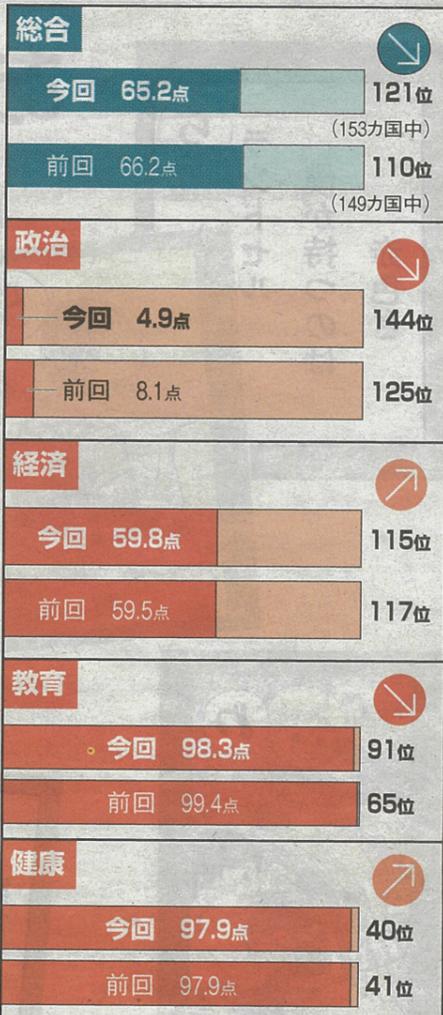
10 人や国の不平等をなくそう

17 パートナシップで目標を達成しよう

性別で決まる役割はない

国際団体「世界経済フォーラム」が昨年12月、男女間の格差をはかる「ジェンダーギャップ指数」を発表しました。2019年の報告書によると、日本は男女平等ランキングで153カ国中121位。過去最低となりました。17年は144カ国中114位、18年は149カ国中110位と毎年低い順位が続いています。日本の現状について専門家に聞きました。

日本に対する評価(100点満点で男女平等)



男女平等ランキング()内は前回の順位

1(1)	アイスランド
2(2)	ノルウェー
3(4)	フィンランド
...	...
53(51)	米国
...	...
106(103)	中国
...	...
108(115)	韓国
...	...
121(110)	日本
...	...
153(149)	イエメン(最下位)

世界経済フォーラム調べ

男女問わず声を上げてこそ、変わる

女性の政治家を増やすことが重要



千田有紀さん

「女性の政治家を増やしていくことが重要です」と武蔵大学社会学部教授(社会学)の千田有紀さん。性別だけでなく、セクハラや性暴力なども社会的な問題となっています。こうした課題を解決するには、地道な行動が必要です。女性の政治家が増えれば、福祉や性暴力に對して、具体的な政策が出てくるかもしれません。より厳格な法律を新しく作ることも大切だと話します。

格差を調べるのは経済、教育、健康、政治の4分野です。日本は政治分野が前回18年の125位から144位に後退し、今回の順位に大きく影響しました。日本の女性の閣僚は、昨年9月の内閣改造まで1人。調査対象となる衆議院議員も女性は1割ほどです。一方、11年連続1位のアイスランドなど上位の国は、閣僚数、議員数ともに少なくとも4割弱が女性です。

「日本では政治に関心を持つことがタフのようにされていますが、自分たちの一票で国が変わる、政治で物事が変えられる、という実感を持たなければいけません」

経済分野については、女性管理職の割合に関する指数が上昇し、前回の117位から115位になりました。国や自治体は「女性の活躍」を求めています。その背景の一つには、女性が賃金を払うことが原則です。

女性が働く環境に課題いっぱい

1970年代以降、世界中で共稼ぎの家庭が増え、各国で女性の社会進出を支える制度の整備が進みました。日本でも共稼ぎ家庭は増え続けていますが、保育園が足りないなどの問題は解決されていません。

2017年、米国のハリウッドから盛り上がったセクハラを告発する「#Me Too」運動をきっかけに、女性が声をあげるケースが増えたと千田さんは話します。日本では、職場で女性へのヒールやパンプスの強制をなくそうという「#Keta Too」運動も話題になりました。

「ヒールが悪いのではなく、職場の環境が悪いんです」

昭和女子大学附属昭和高校(東京都世田谷区)

かるた遊びで気づこう

社会的な性差(ジェンダー)について、遊びを通じて学んでもらおうと、昭和女子大学附属昭和高校(東京都世田谷区)の生徒たちが子ども向けの「ジェンダーかるた」を作りました。「ジェンダー平等のカギは幼少期からの教育」との思いがあります。

▶1面参照

性差には「男だからズボン、女だからスカート」などと家庭や社会で教え込まれるものもあります。かるたを手がけたのは、こうした社会的な性差が、男女の不平等を生んだり、生き方をしぼりすぎたりしていないかを学ぶ1、2年生10人。全校から文案を募るなどして昨年夏、約1年がかりで完成させました。

「楽しいな 僕は折り紙 私はサッカー」「今日はパパのお弁当 家事は協力してやろう」。固定観念をくつがえすような文言と、やわらかいタッチのイラストで、子どもがイメージしやすいよう工夫しています。

きっかけは、ジェンダー平等の先進国で知られるフィンランドを訪れたこと。政府機関や企業などを回り、越智美月さん(2年)は「ジェンダー平等が社会に根づいているのは、小さい頃からの教育が根底にあると思いました」。保育園などでは子どもたちを性別ではなく、一人の人間として尊重する様子を

幼少期から偏見を持たせない



フィンランドの企業を訪れ、女性の労働環境などの話を聞く生徒たち=2019年8月、昭和女子大学附属昭和高校提供

目の当たりにしました。一方、日本では「幼少期、知らぬ間に性別による固定観念や役割分担が植え付けられている」と感じたといいます。こうして育った子どもが大人になり、自分の子にまた植え付ける、という悪循環を断ち切るため、遊びながら学べるかるたに着目しました。

作る過程で、自分たち自身も固定観念にとらわれていると気付くこともあったといいます。絵札を担当した宮川亜弓さん(2年)は、女子トイレの標識を描くとき、ピンク色に手が伸びてハッとしました。「男の子は青、女の子はピンクというジェンダーバイアス(性的偏見)が無意識のうちにかかっていた」

持たせた方が個人の尊重につながるかと考え、さまざまな人種の人を描くようにしました。

昨年夏、区内の児童館で小学生約15人と完成したかるたで遊ぶと「うちのお父さんは家事をお母さんに任せきり」「おばあちゃんから、女の子らしくしなさいと言われた」などの声が上がりました。

海老原朱莉さん(2年)は「ジェンダーについて2年間研究している私自身、気がつかないところで男女を区別して物事を考えることがあります。固定観念を変えるのは本当に難しい」。長尾文音さん(2年)は「ジェンダーばかりにとらわれるのではなく、自分がこう生きたいということを尊重するのが一番大事。生き方を考えるきっかけになった」と話します。

グローバルキャリア 「模擬国連」資料1 生徒が作成する決議文
2020/2/15-16 の玉川学園・頌栄女子学院模擬国連会議：AI と貧困
(本校の高3が2人、米国大使として参加し、決議案作成においても貢献した)

Tamagawa Shoei Model United Nations

CAIO/1/DA.1



United Nations Economic and Social Council

Distr.: Limited

Convention on Artificial Intelligence Operations in Poverty Measures

February 15,16 2020

Original: English

First session

Agenda item: Agreement on Artificial Intelligence Operations in Poverty Measures

Sponsors: Argentina, Australia, Canada, Finland, France, Germany, Malaysia, Morocco, Norway, Republic of Korea, Sweden, Turkey, United Kingdom, United States of America, China, Cote d'Ivoire, India, Morocco, Philippine, Saudi Arabia, Singapore, Russia

Signatories:

The Economic and Social Council Convention on Artificial Intelligence Operations in Poverty Measures, Measures,

1. Collection of Information

1-1) To not infringe upon any states' sovereign rights and the mandate of the United Nations information will be compiled under a voluntary framework of all member states

1-2) Data and information from member states will be compiled by the Organization of Artificial Intelligence Operations under the mandate of the United Nations Economic and Social Council and the Convention of Artificial Intelligence Operations.

1-3) Collection, of a voluntary nature, will be open to all entities to submit

1-4) All entities will not be required to submit information from sources or on facts they do not desire to make in the public domain

1-5) Information will be required to be fully anonymized in order to not identify individual persons or entities

2. Distribution of Information

1-1) Information will be distributed under the framework

A) All entities will be free to access submitted information

B) Entities which access the compiled information will be required to submit a usage report containing the details of how it has been used and specify as much as possible: when, where, how, who and why.

1-2) The information must be used in adherence to a prior declared list of rules of the aforementioned agency

3. Management of Information

1-1) 1. The compiled data will be managed and distributed under policies of the aforementioned agency

4 .Accessibility

1-1) All entities will be free to access information under a system where national identities which will be given to all member states.

1-2) Access to all entities will be required to use information the information compiled as part of the Organization of Artificial Intelligence Operations' through the national identity of the nation they are a part of

Emphasizing the need for education for the development of professional human resources and recurrent education for those who do not have specialized skills in the world where demand for AI will increase in the future,

Desiring an increasingly global initiative to reduce poverty,

Believing in the possibility to create an international framework to reduce poverty using Artificial Intelligence,

Recalling resolution OECD/LEGAL/0449; Council Recommendation on Artificial Intelligence adapted on May 2019 by Organization for Economic Co-operation and Development,

Noting with regret of 2017 Asilomar conference which is unclear what developed countries should deal with and should consider for poverty eradication in developing countries with little funding,.

Approving the Regulation (EU) 2016/679 (General Data Protection Regulation),

1. *Calls upon* the aforementioned agency will be tasked with the capacity building of member states in order to educate individuals as Artificial Intelligence (AI) specialists,
2. *Requests* member states to aid in the use of AI in education,
3. *Calls upon* nations with the means to create AI technology to host individuals from nations without the means to create AI technology in order to educate them,
4. *Urges* the United Nations Economic and Social Council to do the following:
 - a) *Promote* exchange student between developed countries and developing countries, and its contents are below;
 - Send students to developed countries from developing countries and support them to learn technology related to AI,
 - Send students to developing countries from developed countries, and research

the present situation of specific poverty and the level of technology

- After both countries' students returned, they submit a report to United Nations Economic and social council

- the United Nations Economic and social council will use those reports to improve the content of recurrent education and the website for workers.

5. *Help* developed countries for recurrent education to be in local schools,
6. *Identify* the countries that need financial support based on the information in the United Nations Economic and social council and send specific help,
7. *Create* a website for people without jobs to provide them with a job efficiently,
8. *Encourages* countries to hold events such as AI good global summit,
9. *Recommends* countries to use 3D printers to build buildings to reduce its costs,
10. *In order to eliminate* poverty caused by less jobs, increase AI employment in local by distributing AI education to developing countries,
11. *Help* developed countries for recurrent education to be in opportunity of education to provide it for unemployed preferentially,

SDMs 活動報告書 2018秋-2019秋

昨年度夏から引き続き7つの会議に参加しました。また今年度は中学1年生10人を迎え、中学生中心の活動も本格化し、広がりを見せています。

2019年5月 「合同ディベート・ワークショップ with 実践女子&学習院女子」



2019年度、最初の活動は、実践女子との合同企画で「初心者向けディベート・ワークショップ」を行った。本校からは1~5年生が10名参加。日本語と英語でディベートの基礎を体験した。

2019年7月 「3校合同“国連カフェ” @昭和女子」



今年で4回目を迎えた本校主催の「国連カフェ」会議。今年は横浜女子学院と中央大学附属杉並の生徒6人を迎え、総勢63人と最大規模の会議となった。中学生が20人と多数参加したことも特徴。1年生も活躍し、「スピーチ賞」中学生部門は中1の7人が受賞した。

2019年8月 全国高校教育模擬国連



650人が参加した日本最大規模の会議、「全国高校教育模擬国連大会」に今年は5,6年生5名が参加。大使2名はグループ・リーダーとなり、顕著な活躍を見せ、決議案作成に奔走するなど健闘した。また議長団として会議のまとめ役を務めた生徒も出る等、大会の運営に貢献する生徒も育っている。

2019年8~11月 プラスチックの削減や飢餓の撲滅に向けて



SDMsでは実際に社会に働きかける活動が大事だと考える。「テラ・サイクル」というプラスチック削減活動を行っている会社の方を招いてお話をうかがい、学校全体にも働きかけ講演会を開いた。今後学校のできる行動を検討中。またアジア・アフリカの子供に給食を届ける「おにぎりアクション」にも参加している。

2019年 秋・冬、そして持続可能な未来へ

模擬国連はもちろん、中学生が即興ディベート大会に挑戦する等、新しい活動に挑んでいる。プラスチック削減や「おにぎりアクション」など、SDGsの行動につなげ、持続可能な未来作りに関わっていききたい。